

## ・意見

先日、知り合いの母親たちで「道徳が教科とされ評価される」事が話題となりました。「えー、戦前の修身みたいになるの!?!」、私たちの子や孫がそんな教育を受けるなんてイヤだねー、からはじまって、

- ・道徳が教科になって、評価はどうなるのか。・教科書の決め方、戦後の変遷は？
- ・何を目的に教科としたのか。
- ・「修身」は、いつ頃出てきていつ頃なくなり、また「道徳」が、なぜでてきたのか。
- ・教育をどう使おうとしているのかを明らかにしたい。
- ・道徳が教科になってどんな問題がでてくるか、身近な問題として考えたい。

等々、色々な意見がワイワイと出て『なぜ今、教科化されたのか？、教育現場や子ども達への影響は？ 親としてどう対応するか』を後日学習することになりました。

そんなことがあった後で、現場の先生と話す機会があり、今度の高等学校学習指導要領案では「新科目・公共」が必修となることを聞き、文科省のHPを拝見し、パブコメ募集を知っていたため意見を出します。

「道徳心・公共心」って『教え込む事ではない、家庭や学校地域などで自然に身につける事だ』と思います。だれでも、オリンピックで日本選手が活躍すれば嬉しい、応援する、それでいいんだと思います。「教科にして国が基準や徳目を決めて子ども達におしつけるなど論外」です。 いわんや、「道徳心・公共心」のかけらもないような政治家の方々が教育に口を挟み「愛国心を教えろ」なんて許せません。日本国憲法の下で、教育は子どもの学習する権利を充足し、一人ひとりの個性を尊重しつつ人格の完成をめざして行われるべきものです。

今回の「高等学校学習指導要領案」の抜本の見直しをお願いします。

## ・意見

高等学校学習指導要領案野中で、必修科目が大きく変わる「地理歴史科」に限定して以下、私の意見を述べます。

・「自民党政策集」ファイル2010」は「道徳教育や市民教育、消費者教育などの推進を図るため『公共』を設置します」とうたっている。新科目「公共」はこの方針をもとに導入されたと考えざるをえない、政治主導そのものの科目はおかしいので、新科目「公共」は廃止し、教科『現代社会』を必修とすべきである。

・「地歴」の目標に「日本国民としての自覚」に加え、「我が国の国土や歴史に対する愛情」を深めることが、また「公共」の目標にも「自国を愛し、その平和と繁栄を図ること……の大切さについて自覚」を深めることが入っている。これらは「生徒の内心に踏み込む」ことにつながり、削除すべきである。「改訂案」がこのまま施行されれば、2018年4月施行の「国旗」、そして「国歌」まで親しむことを指示した「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」から高校まで「愛国心」育成が一貫することになってしまう。

- ・「道德教育の充実」を担う「科目」として「公共」が位置づけられているのではないか。道德が教科化された小・中学校と同じように「伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する」などを中心とした価値（徳目）を強調した道德教育を強化するのは時代錯誤である。
  - ・「地歴」「公民」とも、各科目にわたる内容の取扱いについての項目で、「多様な見解のある事柄、未確定な事柄を取り上げる場合」には「特定の事柄を強調」したり「一面的な見解を取り上げたり」するなという文が追加された。これは、教育実践を不当に萎縮させる恐れがあるので、削除すべきである。
  - ・日本国憲法の下で、教育は子どもの学習する権利を充足すべく、一人ひとりの個性を尊重しつつ人格の完成をめざして行われるべきものである。
- 「改訂案」は国家・社会に役立つ「人材」育成を第一の目的としているのではないかと、私には感じられる。『子どものためではなく国家のための教育、子どもの成長発達よりも国家や企業にとって役立つ「人材」育成のための教育』をめざすのは本末転倒である。
- ・時あたかも、国政を私物化する『事件』が起きている。「道德心・公共心」に欠ける政治家に振り回されること無く、国家百年の大計を計るべく『教育の中立』を守って、教育行政関係者は毅然と国民のために任務を遂行して欲しい。